

当科で治療受けられた患者および保護者の皆様へ

2026 年 7 月 29 日

小児外科

現在、小児外科では「小児外科疾患における診断・治療に関する後方視的研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 1977 年から 2026 年 7 月までに当科で診療を受けられた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

小児外科疾患における診断・治療に関する後方視的研究

2. 研究の意義・目的

小児外科では新生児から成人に至るまで幅広い患者さんを診療していますが、小児外科で扱う疾患は一般的には稀な疾患が多いです。医療の進歩に伴い、小児外科診療も大きく変化していますが、稀な疾患を扱っている関係で、病気の原因や最適な診療方法が未解明な疾患が多く存在します。これまでの診療を振り返ることで、これまで未解明だった問題に対する答えを導き、これからの小児外科診療の課題を明確化するために本研究を行います。

3. 対象となる方

1977 年から 2026 年 7 月までの間に当科で下記の対象疾患で診療を受けた患者さんを対象とします。

対象疾患：小児ヘルニア関連疾患、小児救急疾患、小児胸部外科疾患、小児消化器疾患、新生児外科疾患、小児肝胆膵脾疾患、小児泌尿生殖器疾患、小児悪性固形腫瘍、小児良性固形腫瘍、小児皮膚軟部組織疾患など

4. 研究の方法

対象の患者さんについて以下の項目を診療録データより後方視的に抽出し、解析を行います。

1) 被験者背景

人口統計学情報：生年月、性別、人種

病歴：既往歴、合併症、アレルギー歴、併用薬

2) 身体所見：身長・体重

3) 臨床検査：血液学的検査、生化学検査、内分泌学的検査、腫瘍関連検査、ウイルス学的検査、アレルギー検査、尿検査など

4) 画像検査：単純 X 線写真、X 線 CT 検査、MRI 検査、RI 検査
造影検査、超音波検査、内視鏡検査など

5) 手術所見

6) 病理組織学的検査

得られた情報を統計学的手法を用いて解析します。

5. 本研究を行う機関

本研究は千葉大学大学院医学研究院小児外科で行われます。

研究責任者、研究代表者は下記の通りです。

研究責任者	所属	千葉大学大学院医学研究院	小児外科学
	役職	教授	
	氏名	菱木知郎	

実施担当者	所属	千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター
	役職	特任助教
	氏名	工藤 渉

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院小児外科の鍵のかかる保管庫で保管します。

7. 得られた情報の利用範囲、研究結果の公開について

本研究で得られた情報は本研究のみで使用し、情報を他機関へ提供することはありません。ただし解析後の研究結果については、学会発表や雑誌への投稿を通して公表し、他の研究や医療現場で活用できるようにします。

8. 本研究のお問い合わせ

この研究に関して知りたいことや、ご心配なことがありましたら下記窓口まで遠慮なくご連絡をください。また、本研究にご自身のデータを使用されたくない方は、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にお申し出ください。ただし、研究の進捗状況によっては、データを取り除くことができない場合があります。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院小児外科

本件のお問合せ先：千葉大学医学部附属病院小児外科

医師 工藤 渉

043（222）7171 内線5423